

Unique &
Exciting

キャリア編

須藤 一夫

1978年応用電子工学科 (T) 入学
チェーンタク・ミライ株式会社 専務取締役
豆乳カフェ「SoiSPACE (ソイスペース)」経営

SONYに27年間勤め 台湾の半導体設計会社に転職、 そして飲食業にチャレンジ



子供の頃から電気が好きで電通大に入学、そしてSONYに入社

父親が電気工事士だったこともあり私も小さな頃から電気に興味がありました。おもちゃとして買ってもらった電子ブロックを夢中になって組み立て、回路の組み合わせでいろいろなものが作れることが楽しくて仕方ありませんでした。小学5年生で電話級アマチュア無線技士の資格を取り、6年生で父親からモールス符号の特訓を受けて電信級を取りました。そんな私やがて電通大に入学したのは当然の流れだったのだと思います。もともとSONYファンだった私は結果的にSONYに入社したのですが、実はこの時「人の健康に役立つことをしたい」という思いもあり医療機器メーカーも就職先の選択肢として考えていました。

「人の健康に役立つ」ことをしたくて医療機器の開発部門に異動

SONYに入社して配属になった部署は8ミリビデオの標準化と開発を行う部署でした。SONYのベータマックスがVHSに対し劣勢になりかけていた時であり、ベータマックス、VHSの次の規格として8ミリビデオで主導権を取ろうと奮闘していました。その努力が叶いのちに8ミリカムコーダーが大ヒットしました。ちょうどその頃SONY内でメデイカル事業を立ち上げようとしている部署があることを知り、「人の健康に役立つ」仕事をするチャンスと考え異動させてもらいました。その部署では医学の基礎の勉強のため東京女子医科大学の医用工学研究施設に1年間通わせてもらいました。そこで人間の体の仕組みの素晴らしさを学び、採血や犬の解剖の実習を通して医療の現場で働く

人の大変さを知りました。その部署ではデジタル記録式の全く新しいホルター心電計の開発に携わりましたが、人体に直接触れる製品は作らないという会社の不文律もあり開発を断念しました。その後組織の変更などがあり、私は携帯電話の開発に従事するようになりました。スウェーデンのエリクソンと合併してソニー・エリクソンとなり、新しい機能やICの開発の打ち合わせでエリクソンの本拠地であるスウェーデンのルンドに何度も足を運びました。もともと私は今まで誰もやっていなかった技術やデバイスの開発が好きで、SONYはそういったモチベーションを常に満たしてくれる会社でした。しかし2008年のリーマンショックを機に状況が一変し、自由な開発ができなくなりました。

転職と新たな人との出会い

51歳になろうとしていた2009年に新たな環境で違うことにチャレンジしようと転職を決意しました。入社したのはコダックのカメラやビデオを設計・開発する会社で、プロジェクトマネージャーを任されました。試作のたびに中国深圳の工場に出張して立ち上げを行いました。が、仕様通りの部品が入らなかつたり納期が守られなかつたりしてとても苦労しました。2012年の1月にコダックがチャプター11を申請したため再度転職することになりました。コダック製品の充電や電源に使われていたICを供給してくれていた台湾のリッチテックという会社でエンジニアを募集していたので応募し、採用されました。この会社の日本人代表との出会いのちに飲食業という異業種での起業につながります。

半導体の世界から飲食業の世界へ

リッチテックではSONYとの共同開発プロジェクトを立ち上げたり、車載カメラやSSDの電源ICをお客様の要望通りに作り、とても多く使って頂きました。新しいものを開発してお客様に喜んで頂くという、自分のやりたかったことが実現した充実した日々でした。

2018年の定年後も技術顧問として残り、後任の育成などにあたりましたが、同時に日本人代表のWさんと何か新しいビジネスをやろうと計画を練っていました。Wさんは台湾生まれで台湾の食生活が台湾人のソウルとして沁みついていて、その中でも特に毎朝豆乳を飲む習慣がありました。台湾には多くの豆乳専門店があり、台北には朝早くから行列ができる店もあります。早速二人で台北に視察に行きました。行列店にも朝7時前から1時間近く並んで豆乳スープや揚げパンなどを食べてみると、美味しさの秘訣はお店で豆乳を搾っていて出来立てが



みなとみらいのSOISPACE店

飲めることも一因であると気づきました。豆乳

について調べ始めた私は豆乳の材料である大豆がとても体に良いことがわかってきました。大豆の専門書を何冊も読んで勉強し、ソイフードマイスターという資格を取り、さらに豆乳マイスターの資格も取りました。そして元々私の願いであった「人の健康に役立つ」仕事を豆乳を通して実現できることに気が付いたのです。当時日本に搾りたての豆乳を出すお店はほとんどなく、あっても台湾スタイルの模倣でした。私たちは台湾と同じことをするのはなく、カフェのように気楽に入れるきれいなお店を作ろうと考えました。店舗は私たちの居住地に近いみなとみらい近辺で探し、元町に豆乳を搾る工場を、みなとみらいにカフェを2021年末にSOISPACE（ソイスペース）という店名でオープンしました。

オープン後はばらばらテレビやラジオ、雑誌などの取材があり、国産大豆のみを使った搾り



元町にある豆乳を搾る工場

たての豆乳が飲める店として紹介されました。翌年にはマルイシティ横浜からオファアがあり、9月から12月までポップアップイベントとして、また2023年3月からは常設店として営業させて頂いています。また、ドリンクやスイーツだけのカフェですとどうしてもランチタイムのお客様が少なくなってしまう。そこでIBM出身で香港でラーメン店を営んでいた方に協力をお願いし、秘伝の担々麺も提供し好評をいただいています。

なお、みなとみらい店については2024年3月を持ちまして経営権を他の業者に移管することになりました。

電通大生のみなさんへ

私は電通大でオーケストラに入団してからホルンを始め、今でもいくつかの楽団に所属しています。昨夏はオーケストラの友人と一緒にザルツブルク近郊でミュージックスクールのホルンクラスに参加しました。他にも写真やカメラが好きでスクールに通い、お酒が好きでワインエキスパートや唎酒師の資格も取りました。それぞれの趣味において多くの友人ができ、今でも親しいお付き合いをしています。今にして思えば今まで多くの友人・知人に助けられてここまでやってきました。本当に感謝の気持ちでいっぱいですし、運も良かったと思います。夢を実現する方法については多くの本にも書かれています。共通して言えることは常にプラス思考で勉強好きであること、いろいろなことに関心を持つて感動すること、そしてツイている人と付き合うことだと思います。あきらめなければ必ず夢は実現すると信じて学業、仕事、趣味に励んで頂きたいと思います。